

クールジャパン拠点構築検討会（中間とりまとめ）

- クールジャパン拠点の構築を目指す民間の取組を後押しすることを目的として、民間主導の取組※をモデルケースに、拠点に必要な機能の明確化、拠点間のネットワーク構築等効果的な情報発信が可能となる方策を検討。
- 拠点に必要な機能を「情報発信機能」・「人材育成・産業創出機能」に明確化した上で、各機能を高めるための視点と、視点を踏まえた具体的取組を「中間とりまとめ」として整理。

※ 羽田地区（羽田空港跡地第1ゾーンのまちづくり）、竹芝地区（「デジタル×コンテンツ」産業拠点）、所沢地区（COOL JAPAN FOREST 構想）で進められているプロジェクトをモデルケースとして議論。

	情報発信機能	人材育成・産業創出機能
視点	<ul style="list-style-type: none">■ 点から面に拡がる情報発信■ 受け手の共感を得られる情報発信■ 驚きの提供■ 地域との関係性の確認	<ul style="list-style-type: none">■ 国際的な訴求力の確保■ 異分野の連携■ 新たな挑戦の促進
具体的取組	<ul style="list-style-type: none">□ インデックス機能・コンシェルジュ機能の構築 （例）全国の拠点に関する情報を集めたインデックスや、問い合わせ窓口を構築。□ ビジョンやストーリーの設定 （例）コンテンツの寄せ集めではなく、大きなビジョンに基づく一貫性ある情報発信を実施。□ 非日常感・臨場感の演出 （例）来訪者が直感的に驚きを感じる建築物等を集積。□ 地域に根付いた魅力の活用 （例）地域に根付いた情報（産業や歴史等）と、拠点から発信する情報を調和。	<ul style="list-style-type: none">□ 海外との提携 （例）海外の教育機関等と提携し、海外の優秀な人材を誘致。□ 「総本山」の確立 （例）国内拠点を本部（総本山）と位置付け、その支部機能を海外に設置することで、海外から人材を誘致。□ 外国人材の受け入れのための環境整備 （例）在留資格の明確化等、海外のクールジャパン人材受け入れのための環境を整備。□ 実験的試みが可能な場の提供 （例）アーティストやクリエイターが自由に制作・発表できる場として、拠点の一部を開放。